

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 19 No 11

220号

平成23年11月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

宮城母性衛生学会学術集会

院長

10月30日仙台市医師会館で、宮城母性衛生学会学術集会が開催されました。講演はいろいろと行ってきましたが、今回は初めて“教育講演”を担当しました。宮城母性衛生学会は、産婦人科の領域の学会で、主に助産師、看護師、そして産婦人科医師で構成されている学会です。今年の学術集会は仙台赤十字病院新生児科山田雅明先生が会長を務め、講演を依頼されました。自分も一時山田先生と新生児医療をともに経験したこともあり講師を引き受けました。

演題名は「新生児医療から生まれた子育て支援」です。内容は、先月号(2011年10月号)の記事そのものです。お読みになった皆さんはおわかりのように、気仙沼で生まれて、杏林大学を卒業した後、国立仙台病院で研修後、国立小児病院から始まった新生児医療に長年従事し、“母親の流す悲しみと喜びの涙”に育てられた小児科医が「お母さんの不安・心配の解消」の理念を掲げ開業し、18年に渡る子育て支援活動を「継続は力なり」の言葉を信じて取り組み続けたことを紹介したものです。

講演はただ真面目なことばかりの羅列では、聴衆は受け入れてくれません。職種も、性格も、そして眠気も様々です。内容は当然ですが、いかに聴衆の興味を引き、講演の世界に引き込むかが、ある意味講師の腕のひとつです。中身が多少薄くても面白い講演と、中身が濃くてもつまらない講演は、どちらが評価されるのでしょうか。医師になって33年半生に渡る小児科医としての取組みを話すので、興味がなければ単なる自慢話のように思えるかもしれません。

実際の流れを紹介しましょう。まずは、“自慢話に聞かせるかもしれません、しばしの間耳と目をお貸しください”から始まりました。半生を語るような講演に憧れ、その際には誕生の写真は是非使いたいと思っていました。古いアルバム探しに時間をとられましたが、なかなか良い写真が見つかりました。“赤ちゃんは笑顔を与える”という言葉が講演中にも使いましたが、可愛いという言葉は聞こえませんでした。3枚の写真を見せたこともありクスクスとの笑いがあがりました。ここでの笑いは重要なことで、どんな話か聞いてみようという講演へ引き込まれる切っ掛け作りとなったはず。次は研修医時代のパンチパーマ、自分



も笑ってしまう程ですから、当然大きな笑いが取れました。新生児医療時代の写真とエピソードを並べ、開業以来の子育て支援活動、理念の大切さや維持することの重要性を50分講演しました。息抜きとして、ダイビング、上遠野太洗君、森永卓郎氏、飼い猫のあくびの写真にも、助けられました。他には、小松島小学校4年生の性教育の授業から始まったPTA行事「赤ちゃんはどこからくるの」では未熟児の成長を元にして“命の大切さ”を、学生・研修医実習では理念を次世代に伝えることの意義も紹介しました。また子育て支援の限界の“悲しい出来事”として、乳幼児突然死症候群(SIDS)、そして日齢4の死亡新生児搬入事件にも触れました。



Mail Newsや震災後患者さんから戴いたメール、そして前日の“こんばんは！今日は久しぶりに親子で診察をしてもらい、Dr.川村の変わらない理念にホッとしました(*^o^*)Dr.川村マジックですねo(^-^o今日もうがい薬の使い方に納得して帰宅しましたv(^-^v『継続は力なり』と言いますが、簡単な事ではないですよ(><)でも、いつまでも変わらずにいて下さい！今日もありがとうございますm(u_u)m”を紹介しただけでなく、還暦のお祝いの写真も含め、コミュニケーションが確立されていることと、多くの患者さんに支えられていることも伝えることができました。

11月のお知らせ

- 診療時間変更
2日 午後診療 17:00 から
仙台市障害児就学指導員会
- 学生実習
18日(金) ご協力を！
- 栄養育児相談
2、16日 栄養士担当
参加無料

講演前に撮影した山田会長とのツーショットの写真を撮影し、最後に会長への謝辞とともに写真を紹介しました。これも指名してくれた会長への気遣いでした。翌日会長から“教育講演、お疲れさまでした。おもしろかったと、好評です。ありがとうございます。参加者も226名と今までで最高でした。先生もお身体に気をつけて、ご活躍ください。”を頂き、“おもしろかった”とは異なる評価を頂きました。さて、還暦を迎えた月に教育講演を依頼され、半生に渡る自分の生き様を話す機会があるとは思っていませんでした。まして、憧れだった生まれた時の写真を使った講演。前日にももらったメールが、まさに講演の内容そのもの、何と巡り合わせが良く、幸せな小児科医ということ、つくづく実感することができました。

講演前に撮影した山田会長とのツーショットの写真を撮影し、最後に会長への謝辞とともに写真を紹介しました。これも指名してくれた会長への気遣いでした。翌日会長から“教育講演、お疲れさまでした。おもしろかったと、好評です。ありがとうございます。参加者も226名と今までで最高でした。先生もお身体に気をつけて、ご活躍ください。”を頂き、“おもしろかった”とは異なる評価を頂きました。さて、還暦を迎えた月に教育講演を依頼され、半生に渡る自分の生き様を話す機会があるとは思っていませんでした。まして、憧れだった生まれた時の写真を使った講演。前日にももらったメールが、まさに講演の内容そのもの、何と巡り合わせが良く、幸せな小児科医ということ、つくづく実感することができました。

さて、還暦を迎えた月に教育講演を依頼され、半生に渡る自分の生き様を話す機会があるとは思っていませんでした。まして、憧れだった生まれた時の写真を使った講演。前日にももらったメールが、まさに講演の内容そのもの、何と巡り合わせが良く、幸せな小児科医ということ、つくづく実感することができました。

これも、かかりつけ患者さんを始め多くの方々のお力添えのお陰です。この場をお借りして感謝を申し上げます。



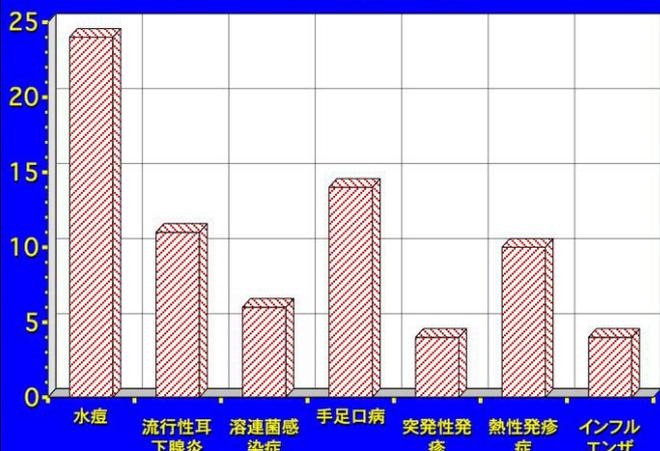
『がんばろう！宮城 がんばろう！日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

読者の広場

先月は還暦もあり 25 通のメールを頂きました。一面記事のメールは青葉区の安達さんから頂きました。講演を見越したようなメールですが、世間で問題になってるような“やらせメール”ではありません(笑)。続いて宮城野区の匿名さんから「いつもお世話になっております。○△美○の母親です何年間もの間先生やスタッフの皆さまにお世話になっております。この度は還暦おめでとうございます。うちの父親母親と同じ年齢と知り先生の若さに驚きました。これからもお体に気をつけて私達の為に頑張ってください。この場をかりてこれまでのお礼を言わせてください。これまで先生には幾度励まされ勇気をいただいたかわかりません。先生はいつも子供の顔をよくみなさい。この子は何々だったかい?と冷静さを失いつつある私に忠告してくださったり、お母さん心配ない大丈夫だと言って安心感を与えてくださいました。私自身口下手で人見知りなんですけど おどおどしている私をお見通しのような 大丈夫 っていう一言。泣きそうになります。沢山沢山お世話になりました。病名を思い出す度その時々情景が浮かびます。ありがとうございます。また今年の夏 8 月に早産ではありましたが家族が増えました。元気な女の子です赤十字病院 NICU で助けていただきました先生のプロフィールに赤十字病院 NICU という肩書きを見たときやっぱり縁があるなって勝手に結びつけました(笑)。正直育児に不登でいっぱいです(泣) / ~ ~ そんな時先生をふと思い出した。先生の厳しいながらも優しさに溢れる一言をいただきに、またお世話になります。新米ママ以下の私ですがこれからも娘共々よろしくお願ひいたします。今日も風邪気味の長女の診察をしていただいて大丈夫だと言って元気いただきました。今週末には次女の初予防接種で伺います。(*^_^*) これからも先生のブログ、メール、クリニックニュース楽しみにしています。(^-^)。日赤の NICU でお世話になったこと、自分も働いたことがあり、学会の会長が日赤と、やはり縁を感じますね。厳しくて優しさに溢れる、ありがたい評価です。チビちゃんも任せてください!。続いては青葉区の相澤さんからの放射能に対する質問と回答を示します。「こんばんは。相澤晴斗と芽衣の母です。先生にお伺いしたいことがありメールしました。夜分遅くに申し訳ありません。秋も次第に深まり紅葉の季節になってきました。自分も保育園に勤務していて、ふとした質問から疑問に思っ頭を悩ませているのですが、子どもがどんぐりや落ち葉を拾い集めたりするのも今年は放射能の影響から控えたほうがいいものなのでしょうか? 例年だとどんぐりやまつぼっくりをたくさん集めて作品に仕上げたり、落ち葉に埋もれて遊んだりしてましたが、保育園だと様々な保護者もいるためどのように対応するべきが困惑しています。ちなみに晴斗は自然物が大好きなので落ち葉もどんぐりも拾い集めまくってますが気にすることないですか? 何か良い対応方法があれば教えていただきたいです。よろしくお願ひします。」。回答は「メールありがとう。まずは放射能の影響には外部被ばくと内部被ばくがあります。外部被ばくに関しては線量と時間が関係し、内部被ばくは時間というより汚染の状況が関係します。どんぐりや落ち葉拾いをしたからと言って、すぐさま外部被ばくが多くなるということはありません。もちろん食べたりしない限りは内部被ばくも起きないはずですが。確かにどんぐりや落ち葉の表面が汚染されている可能性はあるので、拾ったものを水洗いする、よく手を洗う等の注意をしていれば、ほとんど心配ないと思います」。参考にしてください。



10月の感染症の集計



手足口病は一気に減少しました。それと比べて水痘とおたふく(流行性耳下腺炎)が、かなり増加しています。溶連菌感染症は多少増加しています。インフルエンザは10月後半からみられています。仙台市の流行の報告は多くありませんが、一部の保育園では流行しているようです。現在まで4例ですが全てA型で、東北大学微生物教室によるとH3(香港)のようです。現在登校登園に関しては発症後5日、解熱後3日が主流です。

Mail News, Twitter, Blog の紹介

Mail News は、震災を切っ掛けに365人を越えるお母さんが登録しています。右上のバーコードから「登録希望」と登録者、お子さんの名前を送信してください。携帯用HP(左のバーコード)で**Mail News**と**Twitter**も読めます。両方で情報を提供していました。**Blog**(右下バーコード)では、東日本大震災の取組み・活動、放射能やワクチンの話題を提供しています。是非お読みください!



予防接種のお知らせ

インフルエンザワクチン接種開始

13歳未満2回 13歳以上1回

料金(1回) 3150円(消費税込)

今年は従来通りの任意接種に戻ります。接種量が変わり3歳未満0.25cc、3歳以上0.5ccとなります。また今年は国家検定を通らなかったワクチンもあり、接種量が増えたことと相まって、ワクチンが足りなくなる恐れがあります。

接種は10月下旬からですが、早めの予約をお願いします。

『お母さんクラブ』のご案内

『絵本の読み聞かせ』

11月17日(木) 14:30 ~ 福沢市民センター 会費200円

毎年恒例のNPO「かぼちゃ畑」さんによる開催です。読み聞かせだけでなく手遊びなど、お母さんとお子さんが一緒に楽しい時間をすごせる催しです。参加自由です。お友達も誘って下さい!

臨時休診のお知らせ

11月22日(火) 東京出張のため休診となります。

突然の平日休診で、ご迷惑をおかけします。理由は、後日お知らせします。ご理解の上ご協力をお願いいたします。

編集後記

還暦を迎えた月に、教育講演。自身が医師になってからの生き様の紹介。赤ちゃん時代の写真を使って講演できるなんて、本当に幸せな小児科医です。これも読者の皆さんだけでなく、多くの方々に支えてもらっているお陰です。休診で迷惑を掛けますが鳥肌が立つようなビッグサプライズを報告できそうです。楽しみに!!。



『お母さんクラブ』は、9月から再開再開しました。楽しいことも大切です。是非ご参加を!!

震災でのクリニックの対応・院長の取組み・患者さんからのメール・被災状況は、Blog「こどもクリニック四方山話」で!!